

七条中学校だより9月10号

京都市立七条中学校

令和8年9月14日

発行: 校長 林 秀雄

定期テスト2に向けて9 最後まで諦めない

いよいよ明日から定期テスト2が始まります。これまで学校だよりでは、目標の立て方、計画の立て方、基礎作り、理解と整理、思考と判断、協働と表現、そして行動と実践について、段階を追いながら皆さんに伝えてきました。皆さんもそれぞれの目標に向かって、この2週間、自分なりに努力を重ねてきたことと思います。

ここまで計画的に学習を積み重ねてきた人は、その努力を信じてください。毎日の家庭学習、問題集を解いた時間、分からない問題と向き合った時間、眠たい中でも机に向かった時間、友達や先生から教えてもらったこと、それらはすべて皆さんの力になっています。

テスト前になると、「本当に大丈夫だろうか」「まだ覚えきれていないところがある」と不安になる人もいるでしょう。しかし、自信とは「絶対にできる」という根拠のない思い込みではありません。自信とは、「自分はここまでやってきた」という積み重ねから生まれるものです。だからこそ、ここまで努力してきた人は、その努力を信じてほしいと思います。

一方で、「思うように勉強が進まなかった」「もっと早く始めればよかった」「計画どおりに進められなかった」と感じている人もいるかもしれません。しかし、過ぎた時間を後悔しても、その時間は戻ってきません。今さら何をしても無駄だと思ってしまったら、そこで成長も止まってしまいます。

大切なのは、今この瞬間から何ができるかです。まだ今日という一日があります。覚えられる英単語があります。確認できる漢字があります。解き直せる問題があります。見返せるノートやプリントがあります。5分あればできること、10分あればできること、30分あればできることが必ずあります。

これまで十分に積み上げられなかったと感じている人も、決してあきらめる必要はありません。「どうせ無理だ」と投げ出すのではなく、「今できることをやり切る」という姿勢を大切にしてください。その経験は、今回のテストだけでなく、これから先の挑戦でも必ず役に立ちます。

テストは、単に知識の量を競うものではありません。目標に向かって努力できたか、苦手なことから逃げずに向き合えたか、自分自身に負けずに取り組めたかを確認する機会でもあります。そして、本当の勝負は、うまくいっている時ではなく、「もう遅いかもしれない」「しんどいな」「やめてしまいたいな」と思った時に、それでももう一步踏み出せるかどうかです。

『これまで積み上げてきた人は、その努力を信じること。』

『十分に積み上げられなかった人も、自分を責め続けるのではなく、今の自分にできる最善を尽くすこと。』

どちらの人にも共通して言えるのは、「**最後まであきらめない**」ということです。

努力は必ずしもすぐに結果として表れるとは限りません。しかし、**努力した経験は決して皆さんを裏切りません**。たとえ思うような結果にならなかったとしても、自分で考え、行動し、挑戦した経験は必ず次に繋がります。

だからこそ明日は、点数への不安よりも、「自分はやれるだけのことをやった」という気持ちを持ってテストに臨んでほしいと思います。最後の一问まで粘り強く考えてください。

これまで積み上げてきた自分を信じること。

十分に積み上げられなかった人も、最後の最後まであきらめず、今の自分にできることをやり切ること。

そして明日は、自分の力を出し切ること。皆さんの健闘を願っています。

3年生進路希望調査 自分の進路は、自分の目と耳で確かめよう

本日は、進路希望調査の提出日です。3年生の皆さんは、この進路希望を提出するにあたって、おうちの人としっかり話をしたでしょうか。「なぜその学校を希望するのか」「そこで何を学びたいのか」「卒業後はどのような道に進みたいのか」。そうしたことについて、自分の考えを伝えたり、おうちの人の考えを聞いたりする時間を持てたでしょうか。

また、希望する学校には実際に足を運んだでしょうか。学校説明会やオープンキャンパス、学校祭などに参加し、自分の目で校舎や施設を見て、自分の耳で先生や生徒の話を聞いたでしょうか。パンフレットやホームページから得られる情報も大切ですが、実際に訪れてみることで初めて分かることがあります。学校の雰囲気、生徒の様子、授業への取組、通学のしやすさなどは、自分自身で見て感じる大切です。

そして、第1希望の学校だけでなく、第2希望、第3希望の学校についても考えているでしょうか。裏へ

すでに見学に行った人もいますが、まだの人はこれから足を運ぶ予定を立ててほしいと思います。

世の中には、それぞれに特色をもった学校がたくさんあります。大学進学を重視する学校、専門的な技術や資格の取得を目指す学校、部活動に力を入れている学校、少人数で丁寧な指導を行う学校など、その特色は様々です。大切なのは、「みんなが行くから」「なんとなくよさそうだから」ではなく、自分自身が何をしたいのか、何を学びたいのか、どのような高校生活を送りたいのかを考えることです。

進路選択は、単に高校を選ぶことではありません。自分の未来について考え、自分の生き方を考えることでもあります。

ぜひ、引き続きおうちの人とよく相談し、実際に学校へ足を運び、自分の目と耳で確かめながら、自分にとって納得できる進路を見つけてほしいと思います。

「どこの学校に行くか」だけでなく、「その学校で何を学び、どのように成長したいのか」。

その視点を大切にしながら、自分自身の進路と真剣に向き合っていきましょう。

テストの受け方

○名簿順座席で受ける。予鈴のチャイムが鳴る前までに着席する。

○机の上には、鉛筆（シャープペン）・消しゴムのみ置く。机の中は空に。

（定規などが必要な場合は指示あり シャープペンの芯ケース不可）

○かばん、防寒具はロッカーなど、所定の場所に。机や椅子に掛けない。

○テスト用紙の配布から回収終了まで、私語や周りを見ることは禁止。

○問題・解答用紙に必ず名前を記入する。テスト開始前に記入し、静かに待つ（試験監督の先生の指示で記入する）

○テスト開始・終了は、監督の先生の指示に従う。

○質問、消しゴムなどが落ちた、体調が悪くなったときは、手をあげる。

○終了時間まで一生懸命受ける。時間内にできても寝たりしない。

○解答用紙の回収は各列最後尾、問題用紙は最後尾から2番目の生徒が回収する。

